

会 議 録

（ 5 - 1 ）

会議の名称		令和5年度 第2回春日部市青少年健全育成審議会		
開 催 日 時		令 和 6 年 2 月 7 日 (水)		開 会
				閉 会
開 催 場 所		春日部市役所本庁舎3階 301会議室		
議長(会長等)氏名		会長 石塚 勝美		
出席者	委員氏名	(出席人数：9人)		
		岩井 幸一、山田 農久、並木 素生、小保方 敏美、高山 まさ子		
		池田 稔、竹原 聡人、竹内 和幸、石塚 勝美		
	説明者 その他	こども育成課長 手崎 貴代公		
		こども育成課こども育成担当主幹 角田 尚之		
		こども育成課こども育成担当主査 星野 千絵		
	事務局	(出席人数：6人)		
		こども未来部長 大倉 千佳		
		こども未来部次長 野口 勉		
		こども育成課長 手崎 貴代公		
こども育成課こども育成担当主幹 角田 尚之				
こども育成課こども育成担当主査 野口 剛史				
次第及び公開・一部 公開・非公開の区分		こども育成課こども育成担当主査 星野 千絵		
		1. 開会		
		2. あいさつ		
		3. 議事		
		(1) 「子ども・若者意識調査」調査項目について		
		4. 報告事項		
		(1) 春日部市こども・子育て支援審議会の設置について		
5. その他				
6. 閉会				

一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：
配 布 資 料	<資料> 会議次第 ・資料1-1 こども基本法の概要 ・資料1-2 こども計画策定における調査について ・資料1-3 春日部市子ども・若者意識調査 ・資料1-4 設問一覧表 ・資料2 春日部市子ども・子育て支援審議会の設置について (参考資料) 1. こども大綱 2. こどもの居場所づくりに関する指針 3. 春日部市 参考基礎資料 4. 春日部市子ども・子育て支援審議会条例
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等 を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	会議録の署名は、会長が行うものとする。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議事 (1)「子ども・若者意識調査」調査項目について</p> <p><「資料1-1 こども基本法の概要 資料1-2 こども計画策定における調査について 資料1-3 春日部市子ども・若者意識調査 資料1-4 設問一覧表 」により説明></p>
議 長	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありますか。</p>
委 員	<p>調査票は18才～29歳の市民の方対象とあるが、16歳～17歳に対してアンケート調査は行いますか。</p>
事務局	<p>行います。</p>
委 員	<p>設問10-2外出状況を問う選択肢がネガティブな理由が多いと感じます。家に閉じこもっているのがマイナスであるという印象を受ける。ニートの調査ではないので、肯定的な選択肢を入れた方が良いと考えます。</p>
委 員	<p>この設問はすごく威圧的に感じる。デイトレーダーやインターネットを利用して在宅勤務をしている方は多い。そういった方の選択肢がないように感じる。</p>
委 員	<p>外出しない理由としては、「試験勉強や資格取得に向けて、勉強するため」や「家にいることが好きだから」などを入れると良いと思う。</p>
委 員	<p>この設問は、国の「こども・若者の意識と生活に関する調査」の設問・選択肢を概ね踏襲していると説明がありましたが、市独自の選択肢をいれることで、国との比較ができなくなるのではないのでしょうか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>国との比較するためアンケート調査を行うのではなく、春日部市の若者の意識傾向を確認するために行います。「こども・若者の意識と生活に関する調査」の設問項目、選択肢を参考にしていますが、必ずしも同じでなければいけないとは考えていません。</p>
委 員	<p>回答率はどれくらいを見込んでいるか。</p>
事務局	<p>今まで、16歳～17歳、18歳～29歳のみを対象にしたアンケート事例がないため、回答率についてはわからない。他課で高校生を向けてのアンケート調査を行った時の回答率は約10%と聞いています。</p> <p>調査対象者については、ランダムで選んだ16歳～17歳1000件、18歳～29歳2000件の他、市内県立高校や共栄大学学生にアンケートの協力を依頼することを予定しています。</p>
委 員	<p>回答率をあげる工夫をしてもらいたい。</p>
委 員	<p>アンケート対象者の母数に対して、調査者数が妥当なのか、市内で偏りがいいのか等、考慮すると良いと考えます。</p> <p>結婚生活を送るにあたっての必要だと考える世帯収入を問う設問（問16）があるが、「どれくらい収入があるといいですか」と表現した方がよいと思います。</p>
委 員	<p>問13 選択肢の表記が古いように感じます。喫茶店はカフェに変更し、公園や駅前をフットサル場やカラオケに変更した方がよいと思います。</p>
委 員	<p>「推し活動をする場所」の選択肢も必要だと思います。</p>
委 員	<p>こどもまんなかの社会を作っていくと掲げたとき、大人はどう受け止めているか、また理解を求めるにはどう働きかけていくのか。大人が捉えるこどもまんなか社会と乖離があることで、困っているこどもが存在するのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今まで「こどもの権利」の視点が重視されなかった現状があります。大人の意識を変えていくために「こどもの権利」を謳ったこども基本法が施行された。大人への意識の啓発が重要と考えていますが、大人に対して意識調査を行う予定は今のところ考え</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	ていません。
議 長	皆さんのそれぞれの立場から貴重なご意見いただきありがとうございました。
事務局	4. 報告事項 (1) 春日部市こども・子育て支援審議会の設置について <「資料2 春日部市こども・子育て支援審議会の設置について」により説明> 5. その他 6. 閉会
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和6年2月14日</p> <p>署名者の職・氏名 青少年健全育成審議会会長 石塚 勝美 (原本署名)</p>	